



立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

都議選の
投票日は
6/22

東京都議会議員候補(目黒区)

西崎つばさ



あなたの暮らしを守り抜く。

証紙を
貼ってくれ
てありがた
う
ございます

【目黒で生まれ、育ち、働く】

円融寺幼稚園、向原小、九中の出身。3兄弟の長男であることも手伝ってか、生徒会長や野球チームのキャプテンなど、まとめ役を任されるタイプでした。



都立青山高校、東京外語大(英語科)を卒業後、目黒雅叙園に勤務。宴会場では多くの地域の方をお迎えし、営業担当としても地元の企業や団体にご挨拶して回る日々。リーマンショック直後で売り上げは厳しかったけれど、そこで味わった苦労も財産です。

手塚よしお、蓮舫の秘書を経て、目黒区議として6年、都議として4年。途中で挑んだ区長選には敗れましたが、この街に貢献したい気持ちは一層強くなりました。

現在は、3人の子どもの自分と同じ幼稚園・小学校に通っており、今度はパパとして地域にお世話になっています。朝食の準備で駅頭活動の開始が遅くなったり、議会が深夜に及んで帰れなかったりと、仕事と家庭の両立は一筋縄ではいきませんが、子育て世代の一人として、そしてジェンダー平等を目指す男性議員の一人として、これからも奮闘します。

**地方議員の
職務と家庭の両立に
関する国会図書館の論文で、
私の取り組みが紹介されました！**

国立国会図書館 調査及び立法考査局
Research and Legislative Reference Bureau
National Diet Library

題名 Title	地方議員の職務と家庭の両立に 関する国会図書館の論文で、 私の取り組みが紹介されました
担当所属 Type or other category	育休・育児休業 Balancing Work and Family Life of Local Councilors: Efforts for Counselling Councilors' Childbirth and Childcare in Local Councils in Japan and Other Countries
著者 / 所属 author(s)	西崎 雅樹 (Nishizaki Makoto) / 国立国会図書館調査及び立法 考査局 行政出版課
掲載名 Access	レファレンス (The Reference)

00 「育休、終了します。」2018.4.2. 西崎つばさブログ <<https://www.n283.com/archives/6110/>> 「2回目の育休、終わります。」2019.9.2. 同 <<https://www.n283.com/archives/8733/>>

08 「内閣府調査では、産前産後休業期間の短縮の規制規定を設けている都道府県・政令指定都市議会は77議院中4議院、市区町村議会は1,741議院中104議院であった。」「17-1 地方議会における両立支援状況について(都道府県・政令指定都市議会)」前掲75 「17-2 地方議会における両立支援状況について(市区町村議会)」前掲108 また、

【原点は世界平和】

政治家を志したのは高校3年生の時。9.11の同時多発テロや、その後の紛争をきっかけに、どうすれば世界平和を実現できるのか、真剣に考えました。目黒区から広島に派遣された経験や、幼少期に祖父母から戦争の話を聞かされた影響もあったのかも知れません。

そこで出した17歳なりの素朴な答えは、お互いが思いやり、支え合う社会をつくること。現在は、ランプ大統領が象徴するように分断と対立が煽られる時代ですが、私は初心を忘れず、徹底的に抗いたいと思います。

【西崎つばさの信念】

政治は、弱い立場・困難を抱えている人たちのためにあります。スタートラインにすら立てない方々にこそ手を差し伸べ、誰にでも居場所と出番があり、活躍できる社会をつくるのが、多様性あふれる力強い東京へ繋がると確信しています。



「政治とカネ」の最大の問題点は、権力や資金力のある者が政策決定や政治判断を歪めてしまうことです。私は企業・団体献金や政治資金パーティーとは縁を切り、真に支援を必要とする方や、ごく普通に暮らす都民の側に立つ政治姿勢を貫きます。🐦

立憲民主党

東京都議会議員候補
(目黒区)

西崎つばさ

都議会、ここがおかしい!

今の都議会は、自民・公明・都ファが一体となって小池知事を支え、まるで大政翼賛会のようなのです。

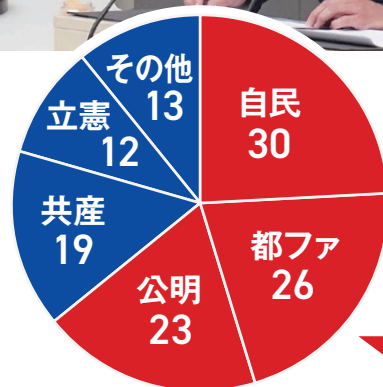
都民不在の再開発や、ずさんな英語スピーキングテストなど、知事に耳障りなことには触れず、それどころか、知事の答弁拒否を問題視した立憲議員の発言を取り消す動議まで提出し、可決させました。もはや、誰のために働いているのか理解できません。

さらには、都議会自民党の裏金問題を追及するために我々が提案した「政治倫理審査会」の設置に自・公・都ファが反対し、極めつけは「裏金議員の免罪条例」を共同提案で可決。不正の真相究明の場すら作れず、熟議とは程遠い今の都議会。何としても変えなければなりません。

鋭く都政を監視する

都政のムダ使いの象徴が、都庁プロジェクトマップ（3年で24億）とお台場の巨大噴水（設置に26億、維持に年1.5～2億）ですが、この2事業のどちらも、127名の都議のうち最も早く議会で問題視したのが私でした。

膨大な都の事業をチェックするのは骨の折れる作業ですが、知事のポチではなく、納税者の番犬として、これからも目を光らせていきます。



都議会会派構成

2025年5月16日現在(欠員4名)

知事与党ばかりでは
チェック機能不全に!



詳しくはこちらから

あなたの暮らしを守り抜く、西崎つばさの政策

1 物価高対策・くらしの底上げ

ベーシックサービスの充実、生活の負担軽減、住宅支援
賃上げと働き方改革、非正規労働者の処遇改善・正規化

2 医療・介護・救急体制の充実

都立病院の機能強化、救急隊の増強、がん対策条例の制定
介護基盤の整備・人材の確保、認知症患者と家族の支援

3 環境保全と安心のまちづくり

防災・インフラ対策、避難所改善、再エネ普及と緑の向上
再開発や羽田ルート、巨大噴水の見直し、カジノ誘致撤退

4 世界一の子ども・子育て支援

子どもの権利推進、学童対策、都立高の入試改革
多様で質の高い教育と完全無償化、教員負担の軽減

5 自分らしく生きられる社会へ

平和の継承、ジェンダー主流化、ヘイトや差別の解消
インクルーシブ推進、デフ大会の成功と共生社会の実現

西崎 翔 プロフィール

- 1983年11月、目黒区生まれ、目黒区育ち、41歳。
- 円融寺幼稚園、向原小、目黒九中、都立青山高校、東京外大英語科を卒業。
目黒雅叙園勤務、手塚よしお秘書、蓮舫秘書、区議2期、都議1期。区長選惜敗。
- 東京若手議員の会 顧問、子どもの事故予防地方議員連盟 監事。
- 妻・長男(10歳)・次男(7歳)・三男(5歳)・保護猫2匹。ビールと野球と猫が大好き。

